

2026年6月下旬配本予定

井澤元一画文集

新版 古都点描

鷺田清一 = 序文

清水智世 (京都文化博物館) = 解説

有山達也 = 装幀・組版



洋画家の生きた、 素顔の京都がここにある

失われつつある京都の日常と土俗的精神を
描き出した幻の画文集、待望の復刊

千年の都・京都。世界中から観光客が押し寄せるこのまちを、明治から平成まで見つめつけた洋画家がいました。井澤元一。

海外から新しい芸術の波が押し寄せ、進化を遂げようと勢いづく日本洋画界で、東西伝統の真の融合を目指す孤高の哲人・須田国太郎に師事し、役所勤めと画業との間でもがきながら自らの表現を模索した井澤は、50代になって日本文学者ドナルド・キーンとの親交をきっかけに、それまで敬遠していた「京都の日常」を描くようになります。

本書に収められたのは、そんな井澤が1970年代後半に捉えた社寺建築や祭礼、風景などの京都の風物です。キーンが「井澤さんの絵には、いつも京都を喚起させる何かが存在する」と評したように、華やかな観光地とは異なる京都の素顔、生活の地層から湧き上がる情趣がのぞく、35編のエッセイと水彩画。哲学者・鷺田清一の序文とともに、京都ファンや京都をよく知る人にこそ読んでほしい画文集です。



高みから見下ろすのではなく、皮肉を忍ばせる
のでもなく、嫌味を交えもしない。なんだかんだと
言いつつも助けあって生きる民衆のその姿を、ペー
ロスとユーモアという温めの油に溶かして描きだす。

——鷺田清一 (序文より)



内容のお問い合わせ、イベントのご相談は、夕書房 (せきしょぼう)・高松まで TEL: 090-6563-2762 info@sekishobo.com

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX: 03-3721-1922

mail: info@tsubamebook.com

TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名 (番線印)	夕書房 新刊		http://www.sekishobo.com
			返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人
ご注文数	新版 古都点描		
ご担当： 様	冊	本体 3,000 円 + 税 / 168 頁 / A5 判横 / カラー / 上製 ISBN: 978-4-909179-14-2 C0039	



本体 3,000 円 + 税

168 頁 / カラー / A5 横 / 上製

ISBN: 978-4-909179-14-2 C0039

井澤元一 いざわ・もといち

(1909~98) 京都生まれ。里見勝蔵、須田国太郎に師事し、独立美術協会、自由美術協会、主体美術協会に所属。ドナルド・キーン of 著作『日本文学散歩』などの挿画を担当。京都市文化功労者。京都文化博物館、京都市美術館に作品が所蔵されている。

京都文化博物館 2026年8月1日~9月27日
「古都点描 井澤元一がみた京都」展カタログ

